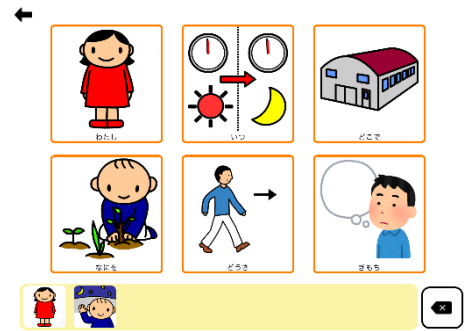


## iPad の支援 アプリについて

App Store からダウンロードして活用できるアプリは現在いろいろなものがあります。本校では児童生徒一人一人の興味関心や実態に合った以下のようなアプリを学習活動の中で活用しています。

- ・音の出る余暇系アプリ  
「だれでもピアノ for iPad」「Magic Zither」「キラキラお絵かき for iPad」「aXylophone」  
「どうぶつまる」「にゃんタップ」
- ・学習系アプリ  
「BitsBoard」「えにっき」「にほんご-ひらがな」「もじルート」「あんざんマン」
- ・スケジュールアプリ  
「やることカード」「DropTalk」
- ・コミュニケーションアプリ  
「えこみゆ」「しゃべるんです」「DropTalk」「DropTap」

○「しゃべるんです」は無料のアプリで、1画面に24枚までのしゃべる言葉をイラストにして並べることができます。好きなものを選ぶ場面や挨拶の時、帰りの会で楽しかったことの発表に使っています。その子に応じた言葉やイラストを準備しています。「DropTalk」も同様の使い方です。動画の再生が必要な場合は「DropTalk」（有料）を活用しています。



○「BitsBoard」は、児童生徒の好きなカードを何枚か作っておくと、そのカードを使って神経衰弱をしたり、好きなものの名前の文字並べをしたり、イラストから正しい言葉を選んだりできます。個々に応じて好きなイラストのカードを準備しています。

○「やることカード」は、勉強や生活する時に、順番を提示するスケジュールアプリです。一つの活動が終わるごとにマークにチェックを入れます。課題がすべて終わると、イラストを画面に貼ることができます。見通しを持つために、視覚的に示すことができる有効なアプリです。



## Pad タッチャーやBluetooth マウスの利用

- iPad タッチャーを使って iPad の操作ができます。  
iPad の標準機能「スイッチコントロール」を使って、画面のタップや複雑な操作が肢体不自由の児童生徒にもやりやすくなります。
- iPad タッチャーの代わりに **Bluetooth** マウスやワイヤレスマウスを利用することもできます。  
iPad タッチャーのように、画面からとれてしまうことがない利点があります。

## iPad を使いやすくするために

①意図しないのに、スワイプしてしまって、使っているアプリが画面から消えてしまうことがあります。

○アクセスガイドでアプリが消えないようにします。

アクセスガイドは、立ち上げたアプリ一つだけを表示するようにできる機能です。  
広告のところもタッチできないようにすることができます

②好きな物を選択する力をつけたい。

○DropTalk を活用して、4つの動画の中から1つを選べるようにしました。

③iPad を触ると変化が起こるという因果関係を理解してもらいたい。

○触れることでいろいろな音が出たり、いろいろな形や線で描けたりするアプリ「キラキラお絵かき」



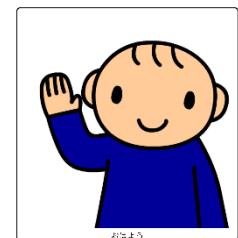
④自分から挨拶をして、コミュニケーションをとりたい。

○アプリ画面のイラストをタップしたら「おはよう」「さようなら」の挨拶が再生される。「しゃべるんです」



⑤爪が当たって画面が反応しない。

○スマホ用の指サックを準備。



本校では、児童生徒一人一人に応じた使い方の設定をして取り組んでいます。できることが増え、将来にも活用できればと思います。